

8-1-9 広報専門委員会

1. 広報専門委員会の概要

広報専門委員会は、広報戦略委員会の下部組織として、広報戦略委員会で検討した年間活動方針等に基づく機能的実行部隊として活動している。

戦略的な広報活動の実践のため、専門委員会内に以下のWGを設け、具体的な活動を進めた。

(1) 建設関連業イメージアップ促進協議会

国土交通省建設市場整備課の呼びかけに基づき、全測連・全地連と連携して協議会を組織し、事務局を担当する。活動内容は、主として大学・高専等への説明会の開催。

(2) 学生講座WG

建設コンサルタントに対する学生への理解を深める広報活動を検討、実施する。建設コンサルタントとは何かを伝える中で、職業としての夢を持ってもらえるような活動を企画。

(3) 一般・社会人広報・ホームページWG

社会人を対象とする広報活動を検討、実施する。一般・社会人向けの具体的な広報ツールを制作。また、協会HPの運用等に対して改善策を企画提案。

(4) 協会イメージアップ企画WG

小学生・中学生を対象とする広報活動を検討、実施する。『暮らしの中の土木』として、コンサルタント、協会のイメージアップ活動を企画。

2. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

隔月で専門委員会を開催することとし、平成29年度は、5、7、9、11、1、3月の6回を開催。

(2) 建設関連業イメージアップ促進協議会

平成24年度から活動を開始。今年度は3大学と1高専で計4回の業界説明会を開催した。対象学校は、東京都市大学、東北学院大学、東北工業大学、木更津工業高等専門学校であり、受講者数は合計305名であった。

(3) ワーキング(WG)による活動

a) 学生向け業界説明会資料の制作

各支部が実施する学生向けの説明会用資料と

して、建設コンサルタントの仕事の内容や魅力を伝えるPPT資料の改訂を行った。また、28年度に制作したリクルート動画(DVD)の活用と併せて、協会会員企業がリクルート活動等で説明用資料を使用できるようにマニュアル・事前申請書類を作成し開示した。

b) 建コン協カレンダーの制作

昨年に続き、建コン協カレンダー(2018年版)を制作した。第8回建コンフォト大賞(2016年度実施)の入選作品13点を活用し、A3判二つ折りのカレンダーを20,000部制作。協会広報誌「Consultant」277号(10月発行)発送時に同梱したほか、支部開催のセミナーや、広報事業専門委員会主催の写真展でも配布した。

c) キャッチコピー・マークの商標登録

協会に対する社会からの認知度や親しみやすさの向上を目的に制作したキャッチコピー、マークの商標登録を6月に完了し、協会支部事務局が統一ルールで使用するためのマニュアルを作成した。

d) 一般向けパンフレットの制作

全支部で配布可能な一般向けパンフレットを制作。商標登録したキャッチコピー・マークを活用し、20,000部を印刷し配布した。

e) 学生向けリーフレット・ポスターの制作

学校説明会等で、建設コンサルタントの仕事の内容や魅力を伝えるリーフレット(8,900部)とポスター(300部)を印刷し配布した。

f) 「学びのフェス2018春」への出展

小学生と保護者が対象の「学びのフェス2018春(毎日新聞社主催)」に出展した(平成30年4月3日)。展示ブースでは「暮らしと土木とコンサルタント」をテーマに出前授業を4回実施した。授業参加児童数は合計24名。

g) JCCAマークの商標登録申請

協会JCCAマークの共通図形が明確でないこと、商標登録が行われていないことが判明したため商標を出願。平成30年6月中に登録予定。

(広報専門委員会委員長 宮内 和則)